

浜銀総研 News Release



2011年9月22日

大幅に持ち直した神奈川県内中堅・中小企業の景況感

—— 企業経営予測調査2011年9月調査結果 ——

要 旨

【景況感】

神奈川県内中堅・中小企業の2011年9月末時点における業況判断D. I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲29と前回調査から12ポイント上昇した。前回6月調査で大きく悪化した景況感は、サプライチェーン回復の動きなどを反映して今回調査で大幅に持ち直した。D. I. 値の上昇幅はバブル崩壊以降で2番目の大きさとなった。

今回の業況判断D. I. 値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が▲25と前回調査比13ポイント上昇し、非製造業も▲32と同11ポイント上昇した。製造業では鉄鋼・非鉄や輸送機械、食料品などでD. I. 値が大きく上昇した。一方、非製造業では飲食店・宿泊や卸売、サービスで景況感が大幅に改善した。

3か月先（12月末）の見通しについては、製造業、非製造業ともに引き続き改善を予想していることから、全産業ベースの業況判断D. I. 値は▲26と9月実績に比べて3ポイントの上昇が見込まれている。

【来春の新卒採用計画】

2012年春の新卒採用計画について尋ねたところ、回答企業593社の採用予定者数は2011年春を0.4%下回ったものの、減少率は2年連続で縮小した。リーマン・ショック後の景気の悪化を反映して、減少が続いてきた県内中堅・中小企業の新卒採用予定者数はようやく下げ止まったと考えられる。

【本件についてのお問い合わせ先】

㈱浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一
TEL. 045-225-2375（ダイヤルイン）

企業経営予測調査

2011年9月実施

四半期別（第161回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした 1,301 社
（うち製造業 424 社、非製造業 877 社）

回収率 46.4 %（回答企業 604 社、うち製造業 239 社、非製造業 365 社）

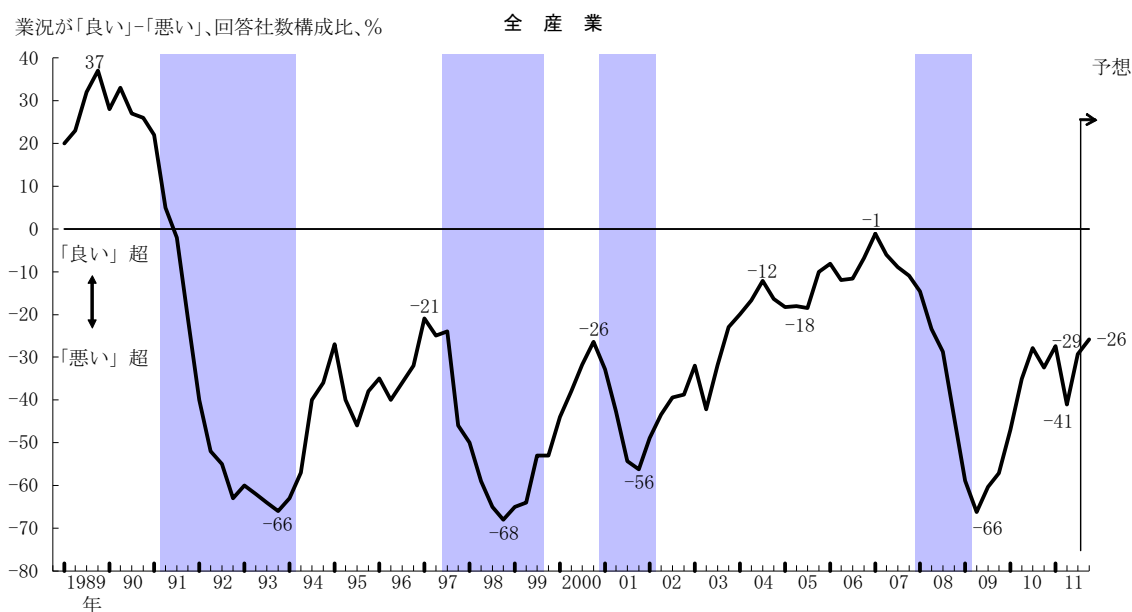
業況判断D. I.

（2011年9月末）

神奈川県内中堅・中小企業の2011年9月末時点における業況判断D. I.（全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%）は▲29と前回調査から12ポイント上昇した。東日本大震災の影響により前回6月調査で急低下したD. I. 値は、サプライチェーン（供給網）の回復や消費自粛ムードの緩和の動きなどを反映して大幅に持ち直した。なお、D. I. 値の上昇幅はバブル景気崩壊以降で2番目の大きさとなった（3ページ【参考表】）。

今回の業況判断D. I. を製造業・非製造業別にみると、製造業が前回調査の▲38から今回▲25へと13ポイント上昇した。業種別には前回調査比横ばいとなった化学・石油を除くすべての業種でD. I. 値が上昇した。なかでも鉄鋼・非鉄が+14と前回調査から33ポイント上昇して「良い」超に転じたほか、輸送機械が27ポイント上昇の▲3、食料品も25ポイント上昇の▲25などと景況感が大きく改善した。なお、製造業におけるD. I. 値の上昇幅は過去6番目の大きさとなった。一方の非製造業についても前回の▲43から▲32へと11ポイント上昇し、改善幅は過去3番目の大きさとなった。業種別には飲食店・宿泊が前回調査比25ポイント上昇の▲57となったほか、卸売が19ポイント上昇の▲27、サービスも16ポイント上昇の▲35などと「悪い」超幅が縮小した。ただ、小売については▲42とD. I. 値が4ポイント低下した。

業況判断D. I. の推移



（3か月先の見通し）

12月末時点の業況判断D.I.は、全産業ベースで▲26と9月末の実績に比べて3ポイントの上昇と引き続き景況感の改善が見込まれている。

製造業では、輸送機械が「良い」超に転じると見込んでいるほか、化学・石油や金属製品など多くの業種でD.I.値の上昇が予想されていることから、製造業全体で▲19と9月末比6ポイント上昇する。一方、非製造業でも飲食店・宿泊や小売、卸売などで景況感の改善が見込まれていることから、全体では▲30と2ポイント上昇する見通しである。

県内企業の景況感は東日本大震災の影響による落ち込みから脱して、V字型の回復を達成した。先行きについても、円高の進展などを背景に不透明感が増しているものの、景況感は改善傾向を維持すると見込まれている。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

（業況判断D.I.：業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、％）

	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末 (予想)
全 産 業	▲ 27	▲ 41	▲ 29 (▲ 32)	▲ 26
製 造 業	▲ 17	▲ 38	▲ 25 (▲ 21)	▲ 19
一般機械	▲ 23	▲ 30	▲ 22 (▲ 23)	▲ 22
電気機械	▲ 34	▲ 42	▲ 29 (▲ 24)	▲ 32
電子部品・デバイス	▲ 13	▲ 44	▲ 36 (▲ 25)	▲ 43
輸送機械	24	▲ 30	▲ 3 (7)	15
食料品	▲ 29	▲ 50	▲ 25 (▲ 40)	▲ 30
化学・石油	▲ 40	▲ 63	▲ 63 (▲ 63)	▲ 47
鉄鋼・非鉄	8	▲ 19	14 (▲ 13)	14
金属製品	▲ 30	▲ 34	▲ 22 (0)	▲ 13
非製造業	▲ 34	▲ 43	▲ 32 (▲ 38)	▲ 30
建設	▲ 47	▲ 46	▲ 37 (▲ 39)	▲ 36
不動産	▲ 4	▲ 9	5 (▲ 22)	▲ 5
運輸・倉庫	▲ 24	▲ 20	▲ 10 (▲ 18)	▲ 17
卸売	▲ 29	▲ 46	▲ 27 (▲ 35)	▲ 19
小売	▲ 34	▲ 38	▲ 42 (▲ 29)	▲ 32
飲食店・宿泊	▲ 56	▲ 82	▲ 57 (▲ 73)	▲ 39
サービス	▲ 29	▲ 51	▲ 35 (▲ 46)	▲ 38

（注）カッコ内は前回2011年6月調査時点における9月末予想である。

【参考表】

業況判断D.I.上昇幅上位 10（全産業）

		D. I.	変化幅			D. I.	変化幅
1	1994.06	▲ 57	17	6	2003.06	▲ 42	10
	1994.09	▲ 40			2003.09	▲ 32	
2	2011.06	▲ 41	12	8	2003.09	▲ 32	9
	2011.09	▲ 29			2003.12	▲ 23	
2	2010.03	▲ 47	12	8	1999.12	▲ 53	9
	2010.06	▲ 35			2000.03	▲ 44	
4	1999.06	▲ 64	11	8	1994.12	▲ 36	9
	1999.09	▲ 53			1995.03	▲ 27	
4	1996.12	▲ 32	11	8	1989.06	23	9
	1997.03	▲ 21			1989.09	32	
6	2009.12	▲ 57	10				
	2010.03	▲ 47					

業況判断D.I.上昇幅上位 10（製造業）

		D. I.	変化幅			D. I.	変化幅
1	2010.03	▲ 51	21	8	2003.09	▲ 31	11
	2010.06	▲ 30			2003.12	▲ 20	
1	1996.12	▲ 29	21	8	2000.06	▲ 31	11
	1997.03	▲ 8			2000.09	▲ 20	
1	1994.06	▲ 65	21	8	1999.09	▲ 58	11
	1994.09	▲ 44			1999.12	▲ 47	
4	2002.06	▲ 46	15	8	1999.06	▲ 69	11
	2002.09	▲ 31			1999.09	▲ 58	
4	1994.12	▲ 38	15	8	1997.06	▲ 21	11
	1995.03	▲ 23			1997.09	▲ 10	
6	2011.06	▲ 38	13	8	1995.09	▲ 43	11
	2011.09	▲ 25			1995.12	▲ 32	
7	2003.06	▲ 43	12				
	2003.09	▲ 31					

業況判断D.I.上昇幅上位 10（非製造業）

		D. I.	変化幅			D. I.	変化幅
1	1994.06	▲ 48	13	6	2005.09	▲ 29	10
	1994.09	▲ 35			2005.12	▲ 19	
2	2009.12	▲ 56	12	8	1995.12	▲ 43	9
	2010.03	▲ 44			1996.03	▲ 34	
3	2011.09	▲ 43	11	9	2006.12	▲ 8	8
	2011.12	▲ 32			2007.03	0	
3	2001.12	▲ 54	11	9	2003.06	▲ 41	8
	2002.03	▲ 43			2003.09	▲ 33	
3	1999.06	▲ 59	11	9	1999.12	▲ 59	8
	1999.09	▲ 48			2000.03	▲ 51	
6	2006.09	▲ 18	10				
	2006.12	▲ 8					

（注）業況判断D.I.は1989年3月から調査している。

(トピック)

来春の新卒採用計画について

2012 年春の新卒採用計画について尋ねたところ（回答企業 593 社）、2012 年春の採用予定者数は、全産業ベースで今春の採用者数を 0.4% 下回った。内訳をみると、製造業が 5.5% 減となった一方で、非製造業は同 3.3% 増となった。全産業ベースの採用予定者数はリーマン・ショック後の景気の落ち込みを反映して、2010 年春に 28.3% 減と大きく落ち込んだものの、今回調査ではほぼ前年並みとなって、概ね下げ止まったとみられる。

来春卒業予定者の採用計画

	今回調査(2011年9月調査)				
	今春 採用者数	来春 採用予定者数	増減人数 (人)	増減率 (%)	回答 企業数
全産業	1,361	1,356	-5	▲ 0.4	593
製造業	565	534	-31	▲ 5.5	234
非製造業	796	822	26	3.3	359

来春卒業予定者の採用予定者数実績比の推移

(今春実績比、増減率、%)

	2008年春	2009年春	2010年春	2011年春	2012年春
全産業	17.4	6.5	▲ 28.3	▲ 7.8	▲ 0.4
製造業	12.8	14.3	▲ 31.1	0.2	▲ 5.5
非製造業	19.7	1.9	▲ 26.5	▲ 10.6	3.3

(注)各年9月時点での翌年新卒採用計画に基づく回答。

なお、本プレスリリースの集計は速報であり、後日発行する報告書の計数と異なる場合があります。

以 上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。